

研究所では、「社会に喜ばれる研究」をスローガンに、地域企業との共同研究等を推進・拡大していくことに日々邁進しております。広報活動や出展・セミナーを開催することにより、研究成果を発表してまいりましたので、その一部をご紹介します。

環境技術研究所 環境・消防技術開発センターシンポジウム

「コミュニティの力を活かした安全・安心な都市作り:自助・共助・公助の連携をめざして」

地域の防災対策で実績のある研究者と行政担当者の講演を行い、北九州さらには日本の防災のあり方について議論を深めました。

日時 平成25年7月12日(金) 14:00~17:00

場所 北九州学術研究都市
学術情報センター1階 遠隔講義室1

- 講演**
- 山下 倫央氏(独立行政法人)産業技術総合研究所 サービス工学研究センター 主任研究員
「安全・安心で快適なまちの使い方~人の流れのデザイン~」
 - 滝本 浩一氏(山口大学大学院理工学研究科 准教授)
「地域防災力の再生と向上~誰がそれをどのように行うのか?~」
 - 三浦 隆宏氏(北九州市危機管理室 防災企画担当課長)
「自助・共助による災害に強いまちづくり」

総合討論 パネリスト…………… 講師3名
コーディネーター… 加藤 尊秋(環境・消防技術開発センター長)



第13回産学連携フェア

企画展示「近未来の安全・安心のために~研究事例紹介~」

日時 平成25年10月23日(水)~25日(金)

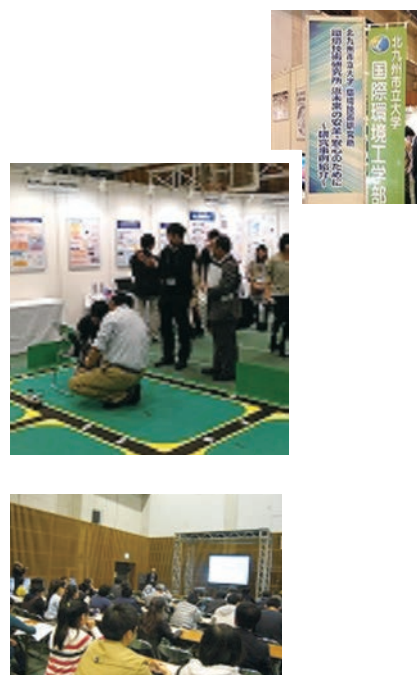
場所 北九州学術研究都市 体育館

特別企画 研究所で取り組む研究のうち、特に防災関連等、近未来の安全・安心社会に貢献する研究取り組みをポスター、デモ等で紹介しました。

中武研究室からは、圧電素子を利用した脈派センサーによる血管を流れる血液の様子の「見える化」デモンストレーションを行い、更に、新たに環境技術研究所で推進している重点研究推進支援プロジェクト、萌芽・リサーチ的研究プロジェクトについてもパネルや動画等で紹介しました。

セミナー「建築・都市低炭素化技術開発センター プロジェクト成果報告」

- 講演**
- 高 偉俊(国際環境工学部建築デザイン学科 教授)
「エコハウスのライフスタイルとエネルギー消費の調査」
 - 葛 隆生(国際環境工学部建築デザイン学科 講師)
「北九州スマートコミュニティにおける
地中熱利用システムのコミッションニング事例」
 - 黒木 荘一郎(国際環境工学部建築デザイン学科 教授)
「研究成果の統括」



環境技術研究所将来構想「ビジョン2013」を策定しました

昨年本研究所は、今後取り組むべき課題や、重点的に取り組むべき目標を定め、今後10年間を見据えた将来構想「ビジョン2013」を策定しました。

今後はこの将来構想「ビジョン2013」を指針として、北九州市及び地域企業と産学官連携による取り組みを推進・拡大し、地域産業の発展に貢献していきます。

詳しくは、環境技術研究所ホームページをご覧ください。 <http://office.env.kitakyu-u.ac.jp/kangiken/>

環境技術研究所 平成26年度研究プロジェクト

環境技術研究所では、競争的外部研究費のより一層の獲得や企業等との共同研究等の促進、ならびに若手研究者の育成を支援しています。研究プロジェクトは学内公募し、厳正な審査を行いました。平成26年度の重点研究推進支援プロジェクト、若手研究者支援プロジェクトに採択された研究をご紹介します。

1 重点研究推進支援プロジェクト

現在進行中の研究プロジェクトで、環境技術研究所が推進する産学連携の研究プロジェクトを中心に支援を行います。支援によって「新たな外部資金」の獲得を目指すプロジェクトを対象に募集しました。

現在獲得している外部資金では規制がかかり支出できないものや、新たな外部資金獲得までの研究の継続を支援します。

平成26年度 採択研究

	プロジェクト名	研究代表者
1	三次元超音速流れの光学的定量計測装置と各種工業用マイクロノズルの開発研究	国際環境工学部 機械システム工学科 教授 宮里 義昭
2	あらゆる環境・状況下でも安心安全を提供する高度運転支援システムの開発に向けた基礎研究	国際環境工学部 情報メディア工学科 准教授 松波 勲/准教授 山崎 恭 (共同代表者)
3	ビッグデータの戦略的構築と解析による組織的災害対応能力強化	国際環境工学部 環境生命工学科 准教授 加藤 尊秋
4	北九州地域とベトナムにおけるβグルカンを用いた新規制癌剤と免疫制御技術の基盤構築	国際環境工学部 環境生命工学科 教授 櫻井 和朗
5	新バイオディーゼル燃料HiBDの自動車燃料特性評価	国際環境工学部 エネルギー循環化学科 教授 朝見 賢二

2 若手研究者支援プロジェクト

若手研究者の育成のため、その自由な発想に基づく独創的・萌芽的な研究を支援し、研究活動の活性化を図ることを目的としています。さらに、将来の科学研究費補助金等の外部資金の申請・獲得のための準備的研究を支援します。

※対象研究員：准教授以下

平成26年度 採択研究

	プロジェクト名	研究代表者
1	バイオマス資源の液体燃料への高効率変換を目指した新規金属-固体酸ハイブリッド触媒の開発	国際環境工学部 エネルギー循環化学科 講師 今井 裕之
2	形状記憶合金を用いた遊星駆動式渦巻きばね形SMA熱エンジンの研究	国際環境工学部 機械システム工学科 准教授 長 弘基
3	色素増感光触媒のための有機色素の探索と機能発現機構の解明	国際環境工学部 エネルギー循環化学科 准教授 天野 史章
4	超音速マイクロ噴流の冷却性能評価のための温度計測システムの開発	国際環境工学部 機械システム工学科 准教授 小野 大輔
5	下水汚泥嫌気性消化槽での無機物析出反応における反応と流動のモデル構築	国際環境工学部 エネルギー循環化学科 講師 寺嶋 光春
6	工具状態監視機能を有する超高速マイクロエアタービンスピンドルの開発	国際環境工学部 機械システム工学科 准教授 村上 洋
7	超高精細映像伝送のための映像適応型高圧縮符号化	国際環境工学部 情報メディア工学科 講師 京地 清介
8	2周波MIMO-STAPレーダによる見通し外・遮蔽目標物検知に関する研究	国際環境工学部 情報メディア工学科 准教授 松波 勲
9	長周期地震動を受けるCFT柱の損傷限界	国際環境工学部 建築デザイン学科 准教授 城戸 将江
10	異種コンクリートで断面が構成された部材の中心圧縮時の強度特性	国際環境工学部 建築デザイン学科 講師 陶山 裕樹
11	エクソソームは石灰化起点になりうるか	国際環境工学部 エネルギー循環化学科 准教授 木原 隆典